

～ 楓祭を終えて ～

10月22日(金)に東金文化会館で校内合唱コンクールが行われました。中学校生活最後の楓祭。生徒達がこれまでの経験を活かしてどんな取り組みを見せてくれるのか？我々職員も楽しみにしていました。

昨年度の楓祭では「勇気を持って1歩踏み出す」ということが課題に残りました。しかし、それは卒業式でクリアできたと感じていました。卒業式の歌の練習の際、日を追うごとに声量が大きくなり、卒業式では素晴らしい歌声を先輩方に届けることができたからです。加えて、3年生になってからは、練習が始まるかなり前から「今年の楓祭は頑張りたい」という声をあちこちで耳にしていたため、我々の期待は高まるばかりでした。

9月後半、本格的に練習が始まると、その期待に応えるかのように着々と練習を重ねていく生徒たち。彼らの成長を実感せずにはいられませんでした。10月17日(木)の中間発表会では、さすが3年生と下級生に感じさせる合唱を披露してくれました。

そして迎えた当日。学校での最後の練習は、1組も2組もとてもいい雰囲気で終わることができました。本番。文化会館のステージ。凜とした雰囲気。ステージ上の生徒の真剣な目、顔、動作…。一人ひとりの全身から放たれる何かが、我々の心に深く突き刺さりました。

素晴らしい演奏をありがとう。

指揮者、伴奏者をはじめ、学級紹介者、パートリーダー、情報合唱委員、生徒会本部役員…、中心になって動いてくれたすべての人と、協力して頑張ったすべての生徒に感謝です。今年の楓祭は、練習開始から本番まで、すべての時間が気持ちよく過ごせた最高の行事となりました。

.....

～ 本気も決断も必要です... ～

10月の三者面談では、現在の状況を確認し、今後の方向性を相談させていただきました。11月12日(火)からの三者面談では、私立の受験校の相談をし、今月中には私立の受験校を決定することになります。期末テストが終了し、2学期の成績が出ると、そのデータを持参して私立高校の事前相談に臨みます。私立高校は成績の基準値を設けている学校がほとんどで、その基準値をクリアしていないと合格が厳しくなるのが現状です。ですから、これから実施される小テスト、単元テスト、提出物等、そして期末テストについて、できる限りの準備をして学習成績向上に努めることが必要になります。自分の進路を切り開いていくために、是非、本気で学習に取り組んで欲しいと思います。

11月の三者面談が終わると、短い期間の中でいろいろな決断もしていかななくてはなりません。受験校の決定、志願の順位、推薦希望の有無…。また、私立高校の基準をクリアしなかった場合や、私立高入試相談での状況がよくなかった場合など、予定どおりに進まなかった場合の代案も考えておく必要があります。家庭で十分に相談をして、状況が自分の希望どおりになった場合とそうでない場合の、少なくとも2つのシミュレーションを行い、それぞれどうすべきかを決めておくことが大切です。

下記に11月の進路予定を記載しました。事前の準備をお願いいたします。

月	日	曜	予 定
11	6	水	○調査書記載事項確認書配付
	8	金	○受験校確認票、私立高校の推薦希望願配付
	11	月	○調査書記載内容確認書提出
	12	火	○三者面談
	13	水	・調査書記載内容の再確認
	18	月	・受験校の相談等
	20	水	○私立高校の推薦希望願提出
	21	木	○期末テスト1日目
	22	金	○期末テスト2日目
	25	月	○受験校確認票(決定版)提出
	26	火	○私立高校推薦希望者校長面接開始
	27	水	○校内実力テスト

～楓祭☆感想～

長谷川唯人	中学校生活最後の楓祭を終えて、まず最初に「楽しかった」と感じました。去年、一昨年は各々クラスの合唱に集中していましたが、今年は生徒達自らが「3年全員で頑張ろうね」という言葉を多く聞けて、本番まで緊張というよりか、むしろものすごく楽しむことができました。そう感じる事が出来たのもみんなのおかげです。ありがとうございました。
下地希	昨年とは大きく違い、1組は練習当初からみんなが真剣に取り組む姿や、お互いにアドバイスを送り合うなど雰囲気がとても良かったです。私は指揮者としてステージに上がり、みんなの事を見た時、私に笑顔をくれてそれに勇気をもらい、一気に不安がなくなりました。最優秀賞は取れませんでした、「全力合唱～信じるは成功の秘訣～」を掲げ、最高の歌声を響かせる事が出来たと思います。
戸田憲伸	私たちは最後の楓祭を通して、クラスや学年全体が一致団結できたと思います。私たちのクラスは去年中々スムーズに練習をうまく進めることができませんでしたが、その反省を生かし、一人一人が真剣に合唱に取り組むことができました。また、他のクラスが合唱をする前などに互いに応援するなど互いの絆を深め合えたと思います。これから受験という高い壁に向かってそれぞれ新たな道に進んでいきますが、この楓祭で経験したことを思い出し、頑張っていきたいです。
菅貞心	わたしたちは今回の楓祭を通して、互いに協力し合い、団結する力や改善点を話し合い、一つの目標に向かって立ち向かう力が身についたと思います。また、ライバルであった他クラスの応援をするなど、同じチームではない人たちとも互いに高め合い、他クラスとの絆も深め合えたと思います。この楓祭を踏み台にし、受験でも仲間と協力し合って立ち向かえるようにしたいです。